

平成30年度第1回 鹿児島市清掃事業審議会 会議録

日 時：平成30年5月28日（月） 13：30～15：30

場 所：東別館9階 特別中会議室

【出席者：21名】

①審議会委員（11名）

三原委員、宮竹委員、上水樽委員、瀧川委員、内匠委員、内委員、田尻委員、榎本委員、向段委員、井上委員（会長）、柳井田委員

②事務局（10名）

環境局長、資源循環部長、資源政策課長、廃棄物指導課長、清掃事務所長、北部清掃工場長、南部清掃工場長、環境政策課長、資源政策課管理調整係長、同課ごみ減量推進係長

【次 第】

平成30年度第1回清掃事業審議会

1 開 会

2 市職員の紹介及び環境局長あいさつ

3 会長あいさつ

4 行政視察報告

5 議 事

(1) 報告事項

① 家庭ごみの減量化・資源化の推進（答申を受けての取組状況）について

② 平成30年度一般廃棄物処理実施計画について

③ 平成30年度資源循環部事業概要について

(2) その他

6 閉 会

【議事録（「議事」以降）】

発言者	発 言 内 容
会長	【報告事項①「家庭ごみの減量化・資源化の推進（答申を受けての取組状況）について」・②「平成30年度一般廃棄物処理実施計画について」】 それでは議事に入る。議事はお手元の配布資料に基づいて進めさせていただきます。まず報告事項①の「家庭ごみの減量化・資源化の推進について」及び②の「平成30年度一般廃棄物処理実施計画について」は関連があるので、事務局から一括して説明をお願いします。
事務局	（資料に基づき説明）約18分
会長	ただ今事務局から説明がなされたが、この説明について、何か質問・意

発言者	発言内容
	見等があれば、発言していただきたい。
委員	草木類の剪定枝だが、市は公園とかも持っているが、家庭のものより大きいと思うが、どのように処理しているのか。
事務局	公園緑化課というところが所管しているが、業者等に委託をして、一般廃棄物として、事業所ごみのような形で処理をしている。
委員	チップとかにはせずに、もえるごみとして出しているということか。
事務局	民間施設でチップ化している。
委員	市民のひろば5月号の「-100gへの道」でも漫画形式で取り上げてあり、さっそく実現に向かっているなとうれしく思った。個人の貸出が10台ということで、庭木を個人でチップにできる機械だと。6月から貸出で、枚方・豊中でもすごく効果があるという話だったので、よかったなと思うところだ。
会長	粉砕機だが、個人で持ち運びができて、操作可能なものという理解でよいか。
事務局	重いといえば重いですが、軽トラやワンボックスカーの後ろに積みこめるくらいの大きさ。個人もだが、町内会単位で申し込んでいただいて、1週間くらい貸して交代で使うとか、それぞれ使い方があると思うので、相談・お話をしながらやっていきたい。バスや電車で持って帰るのはちょっと厳しい。自家用車であれば持って帰れる大きさ。
会長	自家用車というと、ワンボックスでなくてもいいか。
事務局	セダンタイプだと厳しい。分割ができるが、適宜ご相談いただければ判断したい。
委員	家庭ごみ量合計ということで、30年の1月から4月まで出ているが、金属ごみや箱が出しやすくなった結果を含めての数字か。すごく減るんじゃないかと期待して、町内会でも紙が出しやすくなる、傘はもやせないごみでは持っていないなど宣伝をした。違反シールが貼られたものを金属ごみで出し直したりもして、期待をしていたが、微減。
事務局	1月からは金属類の分別収集を開始して、4月の数字はそれを含んでい

発言者	発言内容
委員	る。落ちてきてはいるが、金属類の分別でがくっと落ちたというところまではいかない。
事務局	市民がもうちょっと頑張らないといけないのかと感じる。
事務局	皆さまにご協力いただければと思う。
委員	家庭ごみの一人当たりの量だが、4月で534グラムということで、一般廃棄物処理実施計画では926グラム。こちらはごみということで不燃・可燃・古紙そういったものもすべて入ってということだろうが、現時点であわせた数量というのはいくらになるのか。
事務局	1000グラム弱。28年度の時点で1000グラムを切った。今年度の分については、まだ公表していないので控えさせてもらいたい。一人1日当たり、28年度で979グラム。これより若干減ると思われる。
委員	29年度はこれよりまだ減っているということか。
委員	ごみの分別だが、1月からもやせないごみが変わって、金属類ができた。周知がなされていないようで、特に傘と電気ポットが持っていない。もうちょっと徹底できないか。町内会でも言ってはいるが、徹底していないように思う。
事務局	収集部門からも徹底できていないんじゃないか、広報が足りない、という話もあり、内部でも話が出ている。収集車に「金属類の日が始まりました」というステッカーを貼ったり、金属類と分かるような違反シールを貼ったりということも含めて、できるだけ市民の方への周知を図っているところだ。傘については、ごみ出しカレンダーの金属類のところには傘の表示がなく、市民の皆さんからお叱りの声もいただいている。来年度作るときには、傘とか、質問がよくあるものも含めて金属類としてイラストを加えるなどしながら、より分かりやすい周知に努めたい。
委員	1月から始まった金属類の収集だが、テレビとか情報誌とかで見ると、小型家電製品や金属のついた雑品などの輸入規制の話もあるようだ。市の収集と、金属類を受け入れている民間の業者の今後の対応は。変わりなくできるならよいが。考えがあれば聞かせてもらいたい。
事務局	中国の輸入規制とか、いろいろある。古紙とかも含めて、気にはしている。今のところ、業者から来年は厳しいというような話は聞いていない

発言者	発言内容
	<p>ので、できると思っている。ただ、急な経済情勢の変化などがないとは言えないので、それについては、適宜対応していくしかない。始めた以上は、受入先がなくなったからやめますとは言えないので、情報収集しながら、今後の経済情勢等見ていかないといけないと思っている。今のところ、明確な答えはできない。</p>
事務局	<p>補足させていただくと、鹿児島市の資源物については、処理にかかる費用についてはお支払いをしている。そこから発生した資源物については、購入をお願いしている。社会情勢が変わっても処理ができるようなシステムづくりをしている。</p>
会長	<p>処理業者がストックしておくという話か。</p>
事務局	<p>基本的には鉄スクラップ、古紙については有価物ということで、社会的にまわっているところだ。ただ、売り物にするまでに、古紙だったら、新聞・ダンボールなど品目別に分けるなど、手間がかかる。金属だと、鉄・アルミ・その他の金属などスクラップした後、分別とか手間がかかる。そういう処理料は、市がお支払いする。できたものは買ってもらう。そのような形態にしている。</p>
会長	<p>資源物は流通にのっているという理解。</p>
委員	<p>豊中市の報告の方でも触れたが、取組みとしてされる予定があるのか聞きたい。個人は、小学4年から6年の生ごみのモニター制度、次世代につながるいいアイデアだと思う。事業主、ホテル・飲食店等で生ごみが大量に出ると予測されるが、もったいない精神も含めて、3010運動を鹿児島市でも、1年を通しては難しいかもしれないが、忘年会・新年会の時期、歓送迎会の3月・4月とか区切って、試しにご協力いただいて、食べ物も大事にしながら、生ごみも減らせるという二面性を持った施策とか、事業主を話したことがあるのかどうか。なければ、これからそういう予定があるのかどうか。ただ、豊中市でも聞いてきたが、必ずしも成功しているとは言えないとおっしゃっていた。事業主にお願いはするが、事業主からお客に対しては、なかなか難しいと。そのあたりどうなのかと思って質問した。</p>
事務局	<p>いわゆる、飲食業、ホテル、宴会をするような飲食店関係に対して、直接、市の方で、働きかけはしていないところだ。たが、鹿児島県が県民運動として、3010運動の促進や優良飲食店の指定など、全市町村、県一体となった取組みを、28年度から検討会など開きながら進めてい</p>

発言者	発言内容
委員	<p>る。本市としても、県民運動の一環ということで、県や他の市町村と足並みをそろえて今後取り組んでいこうということで、話し合いに参加している状況だ。もうしばらくしたら、きちんとした形でお示しできるのではと考えている。</p> <p>行政視察報告ありがとうございました。2年前を思い出しながら、お話を聞いた。私たちはこのように他の市の取組みを見たりするが、逆に他の都市から鹿児島市に、こういった視察が来たりするのか。鹿児島市が取り組んでいることを、他県・他市にアピールする機会があるのか。もしあるなら、教えてほしい。大学の方にチラシを配ったり話をしに行ったりということだったが、大学生は3月4月入れ替わりの激しい時期だと思うが、そういった取組みをしているなら教えてほしい。不動産会社を通して鹿児島市のごみはこうなっているとか、市民になったときに窓口で手続きするとき何か配ったりというの聞いたが、不動産会社等の協力も得て、何か取組みがあれば、教えてほしい。</p> <p>それから、3010運動、非常にいい取組みだと思っている。大きな送別会があったときには、必ず皆さんにお声をかけさせてもらっている。とりあえず30分間は自分のところで食べてくださいね、と声をかけている。食品ロスという点から考えると、飲食店から出るごみは非常に大きいと思うので、県民運動の一環ということではあったが、ぜひ市の方でも取り組んでもらいたい。</p>
会長	<p>まず最初の質問の方をお願いする。</p>
事務局	<p>他都市が鹿児島市に視察に来ることがあるのかということについて、鹿児島市は中核市の中でもごみ量が多いほうなので、なかなか他の市からというのではない。昨年度、台湾から来ていただいて、説明をする機会があったのが1件。台湾も進んでいて、こちらも勉強になった。国内からはなかった。3010運動も頑張っていきたい。</p> <p>不動産会社については、鹿大生協にお願いして、鹿大生協の管理する不動産屋にはチラシを配布していただくような形をお願いをしている。その他の民間業者もたくさんあって、枚数もそろえられなかったため、手が回っていない状況である。大学生を一番多く取り扱っているであろう鹿大生協には、お願いをしている状況だ。</p>
会長	<p>他にはどうか。なければ次の事項に進んでもよろしいか。</p> <p>【報告事項③「平成30年度資源循環部事業概要」】</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>それでは、報告事項③「平成30年度資源循環部事業概要」について、各担当課長から説明をお願いします。</p> <p>(資料に基づき説明) 約8分</p>
会長	<p>ただ今、資料に基づいて、報告事項③について説明がなされたが、何か質問・意見はないか。</p>
委員	<p>貴重な財源の中予算を組んでいると思うが、3R推進事業の予算について、前年度に比べて多く予算をとっている。分別アプリの配信や広報・啓発を行うということだが、前の議事でもあるが、ごみの説明会とか、広報に力を入れてもらっているが、ごみ量の推移をみるとそこまで減っていない。市民の意識もあると思うが、関わっている人には大事なことで、鹿児島市民全体に意識づけできるような広報をしてほしいというのがあるが、29年度と30年度、どこを変えようと思ってこのような予算になっているのか。</p>
事務局	<p>600万弱多くなっているが、ごみの分別のパンフレットを全戸配布するためにとった予算。その他については、ほとんど変わっていない。できれば年内に配布をしたいと考えている。</p>
委員	<p>なかなか人の心に刷り込むのは難しいと思う。ごみ減量を意識づけできるなにか大きなものがあればと思う。</p>
会長	<p>なにかひと工夫必要なのかもしれない。専門家もいるので、そのあたり話を聞いてもいいのかもしれないという気もする。</p>
委員	<p>3R推進事業について、パンフレットを配るということで、ぜひお願いしたい。前回23年に作って、年末に配布、できたら一日も早く作ってもらいたいというのが本音。町内会長・衛生部長にもいろいろな相談がきている。前回の本を大事にとっている方もいるので、一日も早く作ってもらいたい。</p> <p>粗大ごみ受付システム更新事業、これは4倍くらいになっているが、電話をしてもなかなかつながらないという声を聞いたりする。それに対してのシステムを新しくするという事か。</p>
事務局	<p>これは電算の技術的な問題で、古くなってきたので、機械を更新する。台数や人数を増やすこととはリンクしない。</p> <p>ガイドブックについては、できるだけ早く出したいという気持ちは十分</p>

発言者	発言内容
委員	あるが、発注業務なので、すぐは難しい。なんとか年内には、早急にと考えているので、ご理解いただきたい。
事務局	1枚になったパンフレットのようなものはいただいて、必要な町内会の人たちには配ったが、後ろにあいうえお順の索引が載っていたのが、非常に助かっていたらしい。ほしいと言われるので、できるだけ早くお願いしたい。
事務局	努力したい。
委員	資源物回収活動助成金の件だが、事業概要に関して、古紙類について、6円/kgとのことだが、平成27年・28年と変わらないのか。
事務局	平成27・28年度は一緒の単価である。
委員	パンフレットを作るのもいいことだと思うが、金属とか新しい分別・収集も入ってきたので、ごみ収集車が放送を流しながら回るというのは無理なのか。目で見るとより耳から情報が入った方がいいのでは。特にお年寄りには、文字を見るのが難しくなっていると思う。そういったことをやろうとは思っていないのか。
事務局	昭和50年代の頃、ごみ収集車が「おさるのかごや」を流しながら走っていた。収集車がきたことをお知らせしながら走っていたが、市民の皆さんのライフスタイルが変わって、昼でもおやすみしないといけない人がいたり、騒音だというクレームが入ったりで、音を流しながらの収集はなくなった。確かにごみに興味を持っている人にはありがたい情報なのかもしれないが、興味のない方には騒音でしかない。音を流しながら走るのは非常に難しいと考えている。金属類の収集が始まったことが分からない、興味のない方がいるので、家庭ごみの収集車、市内に100台いるので、その側面にステッカーを貼るなどして、市民の方の目につくような工夫は行いたい。音の問題は研究させていただきたい。
会長	ごみ収集場所に掲示を出すようなシステムはできないのか。簡単なもので。今日は何の日ですとか。次回は何の日ですとか。
事務局	ごみステーションには、曜日ごとに何のごみの日だというごみステーション看板というのは設置している。
会長	それは切り替えて表示されているのか。

発言者	発言内容
事務局	1週間分が1枚になっている。
会長	毎週でない、金属類などはどのような表示なのか。
事務局	水曜日のところに、第1水曜日は何、第2・第4水曜日は何、ということで分かるように表示している。ごみステーションの数が市内で1万6000か所あるので、一日一日めくったりは非常に難しい状況にある。
委員	音楽について、なるほどと思った。町内会で放送システムを持っているところがある。そういうところを抽出して、毎回は難しいかもしれないが、金属ごみとかだけでも放送をお願いできないものか。
事務局	<p>町内会の、昔でいう有線放送のようなものだと思うが、そこはまだ把握していない。ただ、支所単位で防災システムにのせて放送しているところはある。</p> <p>吉田と喜入では、こちらが原稿を用意して、金属類の日の前には放送をしてもらっているので、町内会向けについては、支所とも連携しながら、放送について対応できるのか研究していきたい。実際、申し出もあった。吉野の町内会だが、青パトで放送をしたいが音源がないという相談だったので、職員が放送内容を録音して、それをSDカードに入れて渡した。衛生連の総会でもお話ししたが、その音源が汎用性があるので、使ってくださいとお願いができれば、広がりができるのかと考えている。そのあたりの情報を調べて対応したい。</p>
会長	環境未来館との連携はそのような形でなされているのか。清掃事業だが、広く言えば鹿児島市の環境をなんとかしたいという話なので。一方で環境未来館というのが別に存在して、あそこも市民への啓発活動とかいろいろやっているはずだが。そことの連携が十分されているなら問題ないが、まだ連携の余地があるなら研究してほしい。
事務局	環境未来館とは今までも連携を図ってきている。ダンボールコンポスト講座など取り組んできた。環境未来館がリニューアルを計画しているので、これを契機にもっとなにかできないか、取り組んでいきたい。
会長	環境未来館、施設は立派だが、市民から見ると中身が全然見えない。部署を超えて連携しないと本当の力が発揮できないのではと思う。ソフト面を含めた連携を特に強化してほしい。

発言者	発言内容
事務局	清掃事業審議会からのご意見ということで伝えます。
委員	ダンボールコンポスト養成講座について、具体的にどういった形でサポーターを養成するのかプランはあるか。例えば、小学4年から6年まで30家族あるが、その中から1家族でもサポーターになってもらうとか。まったく別個でサポーターを養成する講座をつくるのか。それを環境未来館の地域まるごと講座などでNPOなどがダンボールコンポスト講座を行っているが、そこで教育を行っているのか。管轄を資源政策課でということなのか、具体的なプランがあれば、教えていただきたい。
事務局	サポーター養成講座についてだが、ダンボールコンポストには、いろいろ種類がある。NPO法人がやっているダンボールコンポスト、大前先生がやっているダンボールコンポスト、今度子どもたちに呼びかけているダンボールコンポスト、いろいろ種類があって、進め方が違ってくる。我々がサポーターとして養成しようと思っている講座は、ホームフードリサイクルグリーン事業の中で、コンポストを体験した人なので、NPOが指導・進行管理、質問が受け付けられるコンポストが対象になっている。NPOから2時間程度講座を受けていただいて、受けていただいた方が、お友だち3人くらいに教えてあげる。ねずみ算式に増やしていく形で取り組む講座。そのダンボールコンポストについては、学校でやるコンポストとは別個の形のダンボールコンポストになる。
会長	<p>堆肥についても、広範囲に堆肥の需要プランみたいなものを考えて、一気に実現することはできないが、いろいろな用途があるはずなので、堆肥を活用するプランニングを推進してもらいたい。グリーンファームとやってきたのは、前進だと思う。公園緑化課などとはもっと連携すべきと思うので、よろしく願いしたい。</p> <p>「報告事項③資源循環部事業概要」については以上でよろしいか。</p> <p>【その他】</p> <p>本日、用意された議事事項は以上であるが、その他に委員から何かないか。お気づきの点があれば、事務局にご意見をいただくということにしたい。特に無いようなら、事務局から連絡事項等ないか。</p>
事務局	冒頭、会長からのあいさつにもあったが、本日は現在の委員での最後の審議会となっている。次期委員については、調整を行っているが、本日までとなる委員の皆さまには2年間の任期にわたり、熱心なご審議をいただき、ありがとうございました。6月以降引き続きご就任いただける皆さまは、また次回開催日程について文書で案内する。どうぞよろし

発言者	発言内容
会長	くお願いします。 それでは以上をもって本日の議事のすべてを終了する。